

別記様式（第2条関係）

会 議 結 果 報 告 書

令和6年5月21日

会議の名称	志木市公共施設等マネジメント検討委員会（令和6年度第1回）
開催日時	令和6年5月21日（火）10時00分～10時40分
開催場所	志木市役所 3階 庁議室
出席者委員	【検討委員会メンバー】（※進行者） 委員長：香川市長（※） 副委員長：櫻井副市長、柚木教育長 委員：村山総合行政部長、豊島総務部長、松井市民生活部長、中村福祉部長、近藤子ども・健康部長、滝田都市整備部長、松永市長公室長、寺嶋会計管理者、山崎上下水道部長、北村議会事務局長、榎本監査委員事務局長兼選挙管理委員会事務局長、今野教育政策部長 （計15人）
欠席者職氏名	（計 0人）
説明員職氏名	渋谷公共施設マネジメント推進室長 （計 1人）
議 題	（1）新複合施設建設工事スケジュール等の見直しに伴う影響について （2）第Ⅱ期個別施設計画における方向性について （3）その他
結 果	・本検討委員会の内容を踏まえて5月28日に予定している議員説明会において、今後の公共施設マネジメントについて説明を行うこととした。 ・第Ⅱ期個別施設計画における方向性について協議した。
事務局職員職氏名	松田政策推進課長、渋谷公共施設マネジメント推進室長、中森公共施設マネジメント推進室副室長、浅見公共施設マネジメント推進室主席主幹、岩男公共施設マネジメント推進室主査、村山公共施設マネジメント推進室主事
その他必要事項	

会議内容の記録（会議経過、結論等）

1 開会

委員長が会議の開会を告げる。

2 審議事項

渋谷公共施設マネジメント推進室長より資料に基づき説明をした。

（１）新複合施設建設工事スケジュール等の見直しに伴う影響について

新複合施設は、入札参加者より第１次審査後に、全国的に設備工事業者の需要が多く、設備事業者の確保が困難であることを理由とした入札参加辞退の申し出があり、事業の大幅な見直しが必要がある。このため、今後、市場調査等を行いながら、他施設も含め、スケジュール等の見直しを行う必要がある。

（２）第Ⅱ期個別施設計画における方向性について

今年度策定する第Ⅱ期個別施設計画では、第Ⅰ期の判定を基に市民ニーズや市のまちづくりの方向性を勘案する３次判定の見直しを行う。

見直しにあたっては、個別施設カルテ、志木市学校施設長寿命化計画、建築耐用年数等を参考にするとともに第Ⅰ期期間においてマネジメント方策を未実施の施設は優先的に対象とする。第Ⅰ期計画に引き続き市民サービスの低下をさせずに、施設の集約化・複合化等のマネジメント方策を実施し、相対的な床面積を削減を図っていく。

その他、第Ⅰ期計画からの記載方法等の変更点としては以下のとおりである。

①対象施設の整理

②施設別に記載方法を変更

また、公共施設等マネジメント戦略については下記の事項を改訂予定である。

①国の指針に基づいた記載内容の変更

②公共施設マネジメントの実績の更新

（３）その他

本日の結果を踏まえて、５月２８日の議員説明会において説明を行う。

メンバー：保育園、子育て支援センター等のマネジメント検討時期については、第3期志木市子ども・子育て支援事業計画との整合性も調整する必要がある。

事務局：素案の校正等を含めて、今後、調整を行う。

メンバー：新複合施設建設工事のスケジュールの今後の見通しはどのようなになっているか。

事務局：詳細については、市場調査を行ったうえで、スケジュール等の見直しを行っていきたい。また、建設コストについては、物価・人件費の高騰の影響を受けることが見込まれる。

メンバー：28日に議員説明会はどの事項の説明を行うのか。

事務局：新複合施設建設における入札参加申込者の辞退による今後の公共施設マネジメントの影響及び公共施設マネジメント戦略改訂・第Ⅱ期個別施設計画策定について説明を行う予定である。

メンバー：志木市公共施設等マネジメント戦略における目標を達成するうえでは、学校等の延床面積が大きい施設のマネジメント方策が必要になる。
その点については現段階でどのような見込みなのか。

事務局：志木市公共施設等マネジメント戦略は将来人口予測等を踏まえた上での方針を定めたものになる。

基本的には、各施設を志木市公共施設等マネジメント戦略における耐用年数を基準として、マネジメント方策の検討時期として設定している。

メンバー：学校施設については、マネジメント方策の検討時期において、児童数等も加味して方策を検討する必要がある。

メンバー：志木市公共施設等マネジメント戦略における延床面積の削減目標は、今回の改訂において変更は行わないのか。

事務局：目標に設定している延床面積を削減することで、事業費を削減するという方向性は変わらないため、変更は行わない。

3 閉会

委員長が会議の閉会を告げる。

備考 会議内容の記録には、発言者の立場を明記するとともに、発言の趣旨が容易に理解できるよう簡潔明瞭に記載すること。